

就職状況

1年後期から2年前期にかけて毎週就職講座を開講。個人面談を実施し、学生一人ひとりの個性や適性を大切にされた就職サポートを行っている。1年次は履歴書の書き方、電話の掛け方、模擬面接など就職活動始動がスムーズに行われるようバックアップしている。また、2年生の就職内定者や卒業生から話を聞く「就職体験報告会」を実施し、就職活動への意識を高めている。2年次4月には企業の人事担当者を迎えた企業懇談会が行われ、本格的な就職活動が始まる。

近年、学生有利の売り手市場となっており、栄養士・調理関係の求人受付企業が増えている。数年前の就職氷河期以降、人事の方が直接来校されることも多くなった。また、以前まで管理栄養士の採用を行っていた企業から栄養士の求人をいただくようにもなった。

就職希望者の内定率は例年約95%を超え、2018年度においては100%であった。職種別では内定者の約8割が栄養士として、その内さらに約7割が委託給食会社に就職した。就職活動当初、事務職を希望していた学生が数名いたが、最終的には栄養士として就職した。大学生や既卒者と競う一般職より、栄養士の資格を活かした就職の方が有利であると考えられる。

2018年度の求人受付企業は昨年同時期と比べ2割程度増えている。学生一人当たり10社以上の求人があり、専門職就職への選択肢が多いことが本校の強みとなっている。

1. 就職結果

年度	入学者数	卒業生数	進学者数	就職希望者数	内定者数	就職率 内定者／希望者
2018	65	60	3	53	53	100.0%
2017	80	69	1	64	63	98.4%
2016	92	83	4	73	71	97.3%
2015	70	65	2	59	56	94.9%

2. 職種・業種別内訳（2018年度）

職種	人数
栄養士	41
調理	3
介護	1
その他	8
計	53

業種（栄養士内訳）	人数
給食	28
保育園	5
病院	3
教育	2
福祉施設	2
食品会社	1
計	41